

令和3年度 第1回 学校運営協議会 議事録

校名	府立富田林高等学校 府立富田林中学校
校長名	高等学校長 栗山 悟 中学校長 大門 和喜

開催日時	令和3年6月24日(木) 15:12 ~ 17:06
開催場所	府立富田林中学校・高等学校 SSラボ
出席者(委員)	津田会長、森田副会長*、大谷副会長*、金銅委員、易委員、光山委員、岡田委員 (*オンライン出席)
出席者(学校)	栗山高校校長、大門中学校長、市口高校教頭、岡本中学教頭、松井事務部長、他 事務局員
傍聴者	
協議資料	「令和3年度学校の取組みの重点」 「令和2年度CS関連事業活動報告」 「令和3年度LHR等計画(前期)」
備考	

議題等(次第順)

- 報告
- ・高校の組織改編
 - ・中学における生徒支援・学力向上
 - ・中高のパンフレット・HPの刷新
 - ・「富田林中学校・高等学校学校運営協議会実施要項」及び構成員について
 - ・令和2年度CS関連事業実績報告
 - ・教科用図書選定(中間報告)
 - ・中学校の制服について
- 協議
- ・令和3年度CS関連事業活動計画について
 - 未来に向けたコミュニティ・スクール構想、フリースクール(トゥルーカラーズ)について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 未来に向けたコミュニティ・スクール構想について
- * 外部から資金等の面で援助を受けるために
 - ・「探究」で活躍した生徒が世界に羽ばたき地域に戻って活躍すれば、地元企業も協力してくれる。
 - ・企業に対して生徒の意見・アイデアを商品として提案するなど、win-winの関係にならないといけない。
 - ・企業は社会貢献を意識して経営しているので、企業理念を分析した上で提案するのが近道。
 - * CSネットワークにおける瞬発性を高めるために
 - ・現在のネットワーク、特にグローバルな分野では個でのつながりが多い。
 - 組織的に取り組むために、同窓会等とのワーキンググループでの検討を経て、拠点化するのも大切。
 - ・海外の学校と交流しているが、国内の学校ともダイナミックにつながるようになればよい。
- フリースクール(トゥルーカラーズ)について
- ・富校で不登校になる生徒には、複数のタイプがある。
 - それぞれのタイプに合わせるために、できるだけ早く接触して対応していくのがよい。
 - ・中学とは連携が取れているが、高校の情報はあまり入ってこないようだ。
 - 高校段階でもできることがあるので、高校との情報共有ができればよい。
- ※「フリースクールとの提携(出欠・成績・考査監督等の扱い)を継続する」ということを承認。

次回の会議日程

日時	令和3年12月1日(水) 15:00~
会場	府立富田林中学校・高等学校 SSラボ